日本語版 MBTI 作成の基礎研究

田　端　純一郎

はじめに

質問紙によるパーソナリティ検査は矢田部・ギルフォード検査（Y—G）やミネソタ多面人格目録（MMPI）をはじめ多数あるが，そのほとんどは特性論の立場のものである．しかし，個人のパーソナリティに接近するための方向づけを与えてくれる座標軸となる類型論の立場のものはモーズレイ性格検査（MPI）が見られるぐらいである．ユング（Jung, C. G.）の類型論をふまえたパーソナリティ質問紙，Myeres-Briggs Type Indicator（以下，MBTI と略す．）はアメリカでは，教育においては個々の生徒の学習の動機づけの理解や，異なった要求を持った生徒に対する教授法の発展のため，さらにさまざまな要求を満たす課外活動を準備するためなどに用いられてきた．又，カウンセリング場面ではクライエントが自分の適性を理解することによって自分の生活の方向性を見つけ出したり，人と自分の違いや類似性の価値を学習することを援助したりなどに，さらに又，学校での職業指導や企業においては人事や組織編成の為などにも用いられてきた．

マッコーリー（McCaully, M. H.）によると MBTI はパーソナリティの相違に鋭い監察眼を持っていたブリッグス（Briggs, K. C.）がユング

のタイプ論を研究し，それをより詳しいものとしたことが最初の始まりである．第二次世界大戦においては，人が互いに理解しなかったことが戦争の原因であると考え，ユングの類型論をとらえる指標をその娘，マイヤーズ（Myers, I. B.）と共に作りはじめた．そして，研究をかさね，1962年に最初のMBTIをEducational Testing Serviceから出版した．その後，1965年にマッコーリーというフロリダ大学(Florida)の心理学者と出会い，1975年にCerter for Apprications of Psychogical Typeを創設してMBTI研究の中心とした．MBTIは現在Consulting Psychologist Pressから出版されている．

ブリッグスが研究対象としたユングは人の関心の向う方向により，人間には2つの異なった一般的態度があると考えた．関心が内界へ向うことを内向性，外界へ向うことを外向性という態度とした．これとは別に，人はそれぞれ最も得意とする心理機能があり，それは思考・感性，直観・感覚という相対立する4つの根本機能のどれかであると考えた．この4つの機能が内向性・外向性という2つの態度と組みあわされて8つの類型ができる．意識の態度によって類型化をしているが，それだけでなく，意識と無意識の補償作用をもあわせて考えている．この作用により主機能だけでなく劣等機能(inferion function)も発展させられる．このような過程(process)を個性化（individuation）の過程と呼んで，パーソナリティを発展してゆくものとしてとらえている．

MBTIはユング理論を基礎にしているが，そのものではない．4つの心理機能が2つの態度に組みあわされるのではなく，内向性・外向性という態度の軸と思考・感性，感覚・直観という機能の軸は互いに独立しており，そこに判断（judging）・認知（perceiving）という機能軸を新たに加えた点が異なっている．この4つの指標は，ユング理論に従い，認知と判断を用いる方向を示す4つの基本的な選択のうちの1つをそれぞれ反映している．選択は人々が与えられた状況において注意をするかということだけではな

く，彼らが認知するものについてどのように結論を下すかということにも影響を与えている．

MBTI 理論の要点はでたらめに見える人間の行動が，実際には個人に認知と判断の用いかたの基本的な違いが存在するだけで，非常に規則正しく一貫していると考えていることである．判断とは認知しているものについての結論に至るすべての方法を含んでいる．人がなにかを認知し，どのようにして結論に達したかを正しく区別できるなら，その時，彼らの反応，価値観，動機づけ，技能，興味の点に関して人を分けることは容易であるという．

MBTI の指標の意味は次のとおりである．

外向型（Exravertion）・内向型（Introvertion）

EI 指標は向性を反映する．外向性の人は人と物に認知と判断を向ける．内向性の人は概念と観念に認知と判断の焦点をあわせる．

この指標の向性は一方が意識的態度，他方が無意識的態度として行動に表れる．

感覚型（Sensing）・直観型（iNtuion）

SN 指標は認知の 2 つの極での選択を反映する．感覚型は感覚過程に頼り，観察可能な事実について，五感で感じることを報告する．直観型は直観過程に頼り，意識の及ばないところで実現された意味や関係性について言及する．

思考型（Thinking）—感情型（Feeling）

TF 指標は判断の選択を反映する．判断が要求される時，思考型は主として合理的な結果に基づいた非人格的決定をおこなう思考に頼る．感情型は主に個人的，あるいは社会的な価値観に基づく感情に頼る．

判断型（Judging）—認知型（Perceiving）

JP 指標は外界を処理する際の過程を反映る．判断型は，外界を扱う際に思考あるいは感情という判断過程を好む．認知型は外界を扱う際に感覚あるいは直観という認知過程を好む．

MBTI の解答方式は，対になった対極に位置する指標で構成された項目の強制選択法をとっている．たいていは 2 項目のいずれかを選択するが，3 項目から選択する果題もある．選択課題の項目はマイヤーズによって，より包括的な類型選択を喚起する刺激として選ばれた一般的・日常的なささいな出来事で構成されている．問題によりそれぞれの回答には 0， 1，および 2 点が割り当てられている．通過率72%以上の項目は加重点 2 がつけられ，63%から71%までの通過率を示す項目は加重点 1 点が与えられ，他は全て加重点 0 である．又，性別に通過率を計算した時にこれらの通過率を示せば，その性で同様の加重点が与えられる．各選択で重みをつけられた評点の合計はポイントと呼ばれる．例えば，I に対するよりEに対してより高得点のポイントの合計を示した人は外向性と分類され，E ポイントと I ポイントの差の程度は，E13やE27のように示される．I ポイントの方が多い場合は内向性で I 13のように表記される．EI 選択得点はEポイントと I ポイントの差に基づいている．アルファベットの記号は選択の方

向を示し，数値は選択の強さを示している．このようにして決定された選択の４つ記号によって16の類型が生じる．

現在MBTIは標準形式であるformF（166項目）とformG（136項目）およびformGの自己採点版（94項目），短縮版のformAV（50項目）の４つの形式が出版されている．formFとformGは研究項目を含んでいるが，それを除けばformGの自己採点版も含めて，項目はほとんど変わらない．ただし順序は異なる．

このようにアメリカでは広く用いられているMBTIであるが，日本では標準化はされておらず，あまり使用されていない．

目　的

本研究では，このMBTIの日本語版を作成し，標準化を行なう過程として，基礎的布置を明確にすることを目的とした．

MBTIを訳すにあたり，かつて自我同一性簡易尺度を作成した時にもそうであったが，外国語の尺度を日本語にする場合単に外国語を日本語に対応させて置き変えれば良いという問題ではない．文化や慣習の違いにも最大の注意を払わなければならない．特に，MBTIの場合は，他の質問紙と異なり，質問項目が文章によるもののみでなく，単語のものもあり，それゆえなおのこと上記のことには気を使わなければならない．今回は，まずMBTIとはどのようなものかを示し，日本語訳をしたMBTIを施行し，その資料を収集，分析し，問題点を検討してみたい．

方　法

被験者　関東及び関西の大学に在学する大学生．１年生から４年生までを含む486名．性別は男性250名，女性236名．年齢は18歳から26歳．主とし

て文科系学部所属．ごく少数のアジア系留学生を含むがほとんど日本人からなる．

手続き　授業担当者が心理学関係科目の授業時間中にMBTIを配布し，課題として施行し，回収した．

用具　日本語版MBTI．日本語版作成にはformGの自己採点版を用いた．これは採点方法の関係で文章形式の項目が2群，単語形式の項目が2群，合計4群からなっている．今回の日本語版作成にあたり，各2群の項目をまとめ，文章形式の項目1つ，単語形式の項目1つとし2群構成とした．先に述べたように各formで項目の配置は異なるのでこのようにまとめた．又，英語版の質問形式は主語があなた，すなわち「あなたは……ですか？　あるいは……ですか？」となっているが，日本語版では「わたしは……」という形式に変えた．又，アメリカにおいてはMBTIは高校生から成人までに対して実施可能となっており，日本語訳もその程度の水準になるよう心掛けた．

結　果

表2　8つの尺度の信頼性

尺度名	項目数	α	折半法
E尺度	21	.68	.67
I尺度	21	.74	.72
S尺度	26	.53	.54
N尺度	26	.54	.56
T尺度	23	.58	.51
F尺度	23	.67	.65
J尺度	22	.73	.66
P尺度	26	.71	.63

表3　8つの尺度得点の性差

尺度名	男性	女性	t	P＜
E尺度	10.35 (4.29)	10.27 (3.59)	.310	n.s.
I尺度	10.32 (4.27)	10.27 (3.54)	.081	n.s.
S尺度	10.55 (3.32)	10.31 (3.54	.641	n.s.
N尺度	15.46 (3.31)	15.56 (3.56)	.261	n.s.
T尺度	9.63 (3.17)	8.36 (3.26)	4.11	.005
F尺度	13.73 (3.59)	15.23 (3.63)	4.36	.002
J尺度	11.07 (4.44)	11.89 (4.28)	1.78	.1
P尺度	12.10 (4.16)	11.52 (3.82)	1.288	n.s.

平均値（標準偏差）jlf＝486

表1には各質問項目の通過率を女性・男性・男女全体に分けて示した．通過率の最も低かった項目は25bで2％（全体）であった．そして全体が10％未満，あるいは91％以上であった項目が6つあった．20％未満あるいは81％以上にまで広げると22項目となった．

表2には8つの尺度ポイントのα係数および折半法による信頼性を示した．α係数が一番低かったのはS尺度（.53）であり，折半法の信頼性が最も低かったのはT尺度（.51）であった．しかし，どちらも十分な水準に達していると考えてさしつかえないであろう．

図1から図8に下位尺度の得点分布を男女別に示した．今回は被験者数が十分な数とは言えないので，加重点は加えていない．

表3には下位尺度の性差を示した．T尺度（t＝4.11，P＜.005），およびF尺度（t＝4.36，P＜.002）に有意差が認められた．男性は思考型が多く，女性は感情型が多いことが示された．

巻末に（附表）としてMBTIの検査項目を示しておく．

表１．検査項目の男性・女性・男女全体別通過率

項目番号	男性通過率	女性通過率	全体通過率	項目番号	男性通過率	女性通過率	全体通過率	項目番号	男性通過率	女性通過率	全体通過率
1 a	59	63	61	17 a	74	65	70	32 b	33	29	31
1 b	40	36	38	17 b	26	35	30	33 a	71	76	73
2 a	77	72	74	18 a	45	36	41	33 b	29	24	27
2 b	24	29	26	18 b	54	63	59	34 a	55	67	61
3 a	76	85	80	19 a	42	29	36	34 b	44	33	39
3 b	23	15	19	19 b	33	39	36	35 a	65	66	65
4 a	41	38	40	19 c	24	32	27	35 b	35	34	35
4 b	58	62	60	20 a	41	41	41	36 a	56	53	55
5 a	65	65	65	20 b	58	57	57	36 b	30	34	27
5 b	35	35	35	21 a	52	57	54	36 c	23	14	19
6 a	47	56	51	21 b	47	41	44	37 a	45	56	50
6 b	53	43	48	22 a	73	72	73	37 b	55	45	50
7 a	53	51	52	22 b	27	27	27	38 a	76	85	80
7 b	47	47	47	23 a	69	77	73	38 b	24	15	20
8 a	53	48	51	23 b	31	23	27	39 a	57	44	51
8 b	45	51	48	24 a	76	83	79	39 b	43	55	49
9 a	53	57	55	24 b	24	16	20	40 a	75	73	74
9 b	47	41	44	25 a	47	52	49	40 b	25	27	26
10 a	12	4	8	25 b	3	2	2	41 a	37	41	39
10 b	89	96	92	25 c	51	46	48	41 b	63	59	61
11 a	65	67	66	26 a	67	55	61	42 a	84	81	83
11 b	35	33	34	26 b	61	62	62	42 b	16	19	18
12 a	31	26	29	27 a	84	79	82	43 a	29	27	28
12 b	69	72	70	27 b	15	20	18	43 b	61	62	62
13 a	66	79	72	28 a	26	16	22	43 c	27	27	27
13 b	33	21	27	28 b	73	83	78	44 a	69	58	64
14 a	47	61	54	29 a	50	65	52	44 b	32	43	37
14 b	53	38	46	29 b	50	45	48	45 a	41	32	37
15 a	47	55	51	30 a	39	45	42	45 b	60	67	63
15 b	51	41	46	30 b	61	54	58	46 a	77	76	77
16 a	45	50	47	31 a	58	62	60	46 b	25	24	24
16 b	51	47	49	31 b	42	36	39	47 a	45	55	50
16 c	4	3	4	32 a	66	71	68	47 b	56	45	51

項目番号	男性通過率	女性通過率	全体通過率	項目番号	男性通過率	女性通過率	全体通過率	項目番号	男性通過率	女性通過率	全体通過率
48 a	56	48	52	64 a	56	67	61	80 a	70	68	69
48 b	45	52	48	64 b	44	33	39	80 b	29	31	30
49 a	42	46	44	65 a	20	8	14	81 a	67	65	66
49 b	59	54	56	65 b	81	92	86	81 b	33	34	34
50 a	10	8	9	66 a	57	70	63	82 a	57	48	52
50 b	90	92	91	66 b	43	30	37	82 b	43	52	48
51 a	37	30	34	67 a	81	84	83	83 a	30	25	28
51 b	63	69	66	67 b	18	14	16	83 b	70	74	72
52 a	55	56	56	68 a	53	49	51	84 a	53	62	57
52 b	44	44	44	68 b	46	51	49	84 b	47	38	43
53 a	82	77	80	69 a	22	19	20	85 a	79	83	81
53 b	18	23	20	69 b	78	81	80	85 b	21	16	19
54 a	34	51	42	70 a	43	30	37	86 a	45	51	48
54 b	65	48	57	70 b	56	70	63	86 b	55	49	52
55 a	43	47	45	71 a	39	34	37	87 a	55	62	58
55 b	57	53	55	71 b	60	66	63	87 b	45	37	41
56 a	35	29	32	72 a	27	15	21	88 a	43	38	40
56 b	64	70	67	72 b	74	85	79	88 b	57	62	59
57 a	66	45	56	73 a	40	27	34	89 a	68	77	73
57 b	34	55	44	73 b	59	45	56	89 b	32	22	27
58 a	73	75	74	74 a	43	44	44	90 a	48	55	51
58 b	26	24	25	74 b	57	55	56	90 b	52	43	48
59 a	39	26	33	75 a	80	87	83	91 a	26	25	26
59 b	60	73	67	75 b	20	12	16	91 b	74	74	74
60 a	35	27	31	76 a	77	83	80	92 a	61	57	59
60 b	65	72	69	76 b	23	16	20	92 b	39	43	41
61 a	67	76	71	77 a	72	74	73	93 a	56	54	55
61 b	33	24	28	77 b	28	25	26	93 b	44	46	45
62 a	46	53	49	78 a	58	52	55	94 a	49	54	51
62 b	55	47	51	78 b	42	48	45	94 b	51	46	48
63 a	89	92	91	79 a	55	47	51				
63 b	10	7	9	79 b	45	52	51				

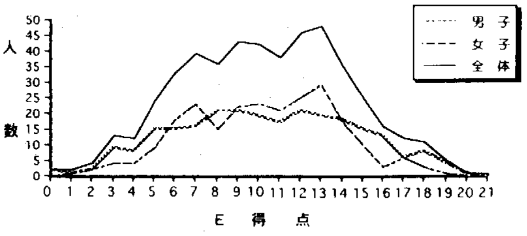

図1 E得点の分布

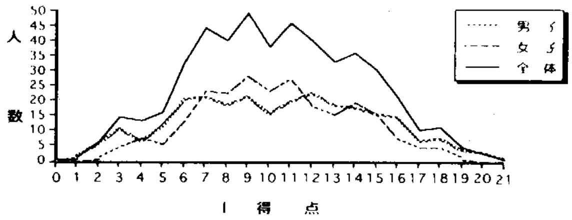

図2 I得点の分布

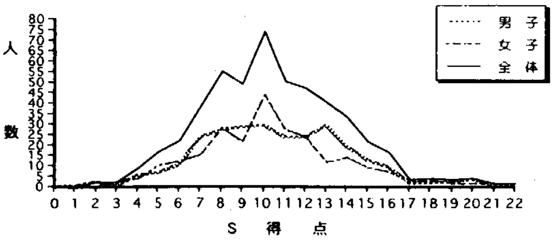

図3 S得点の分布

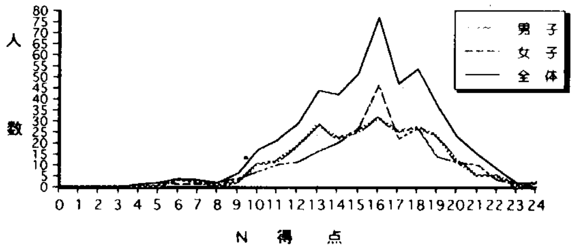

図4 N得点の分布

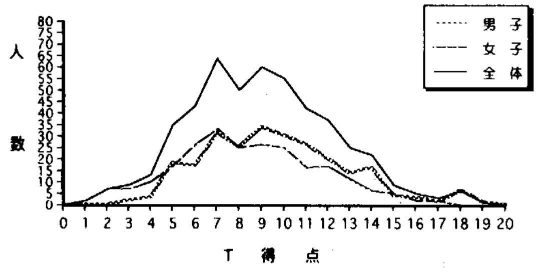

図5 T得点の分布

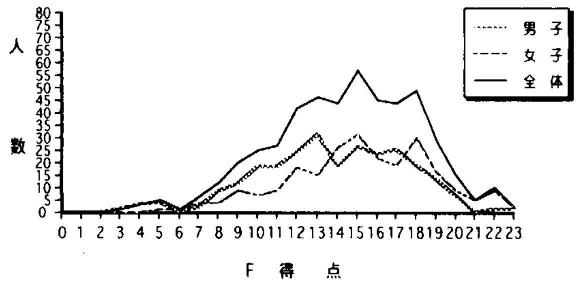

図6 F得点の分布

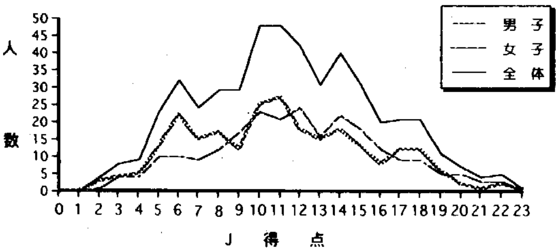

図7 J得点の分布

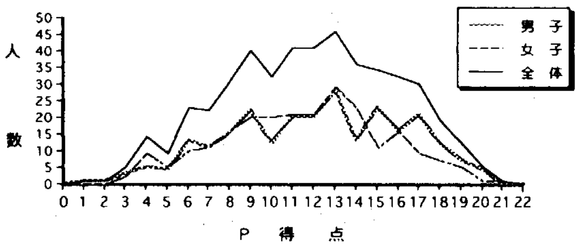

図8 P得点の分布

考　察

2項目選択で通過率の片寄りが極端であったものは，10—私が気を使うのは，「a．人の権利に対してです.」(8％)，「b．人の感情にです.」(92％)．と，「50—a．作る」(9％)，「50—b．創る」(91％) である．項目10は文化の問題がそのまま表われた結果ではないかと思われる．項目50はMBTIの特徴である単語項目である．日本語に訳した単語がどのような刺激価を持っているのかが重要な問題であった．英語では対になっている単語の刺激が等価に近いものであっても日本語ではかけ離れてしまうことも考えられる．日本語訳では態度や機能との関係という点に関しては最大の注意を払った．しかし，その言葉のもつイメージや社会的望ましさに対しては配慮は行なったが十分とは言えなかったかもしれない．ここではまさにそれが表われている．この項目は作成に当って悩ましいものであった．「make (感覚)」を「作る」，「creata (直感)」を「創る」と訳するのは当然であり，測定の意図からも妥当なものであった．しかし，このような通過率になる危惧はその時から持っていた．だが他に訳しようがなかったのも事実である．困難ではあるが検討しなければならない問題である．

このような困難な問題点もいくつかは存在するが，全体としては信頼性のある尺度と考えられよう．

MBTIの主な目的は4つの基本選択を明らかにすることである．EI, SN, TF, JPという4つの指標はあるひとつの方向を示すように意図されている．その目的は，右利きや左利きから類推されるような，対抗する2者間に見られる無意識的な選択を反映している．何かに手を伸ばそうとしている時，人は右手と左手の両方が使える状況にあっても，利き手の方の手を伸ばす．同じように，すべての人は4つの選択の両方を使うが，選択された機能や態度に，一番最初に，あるいは非常に頻繁に反応すると仮定されるのであ

る．そして，ほとんどすべての人間の経験は，認知あるいは判断と関係しており，行為の世界や観念の世界においてなされる．MBTI はこの基本的機能と態度に関する個人差とかかわっているので，広範囲の人間の活動を説明するという．このように MBTI は役に立ち得ると思われる．

今後，必要に応じて質問紙を修正し，被験者を増やし標準化をはかり，パーソナリティ測定の有用な用具となるようにしたい．

引用文献

ユング，C. G. 林道義訳 1987『タイプ論』みすず書房（Jung, C. G. 1921 Psycholgische Typen. Rascher & Cie.）

Mccaulley, M. H. 1981 Jung's Theory of Psychological Types and the Myers-Briggs Type Indicator. In Mareynolds, P. (ed.) Adovances in Psychological Assessment, vol. 5. Jossy-Bass Publishers.

Myers, I. B. 1993 Introductitn to Type (5thed.) Consulting Psychologist Press.

Myers, I. B. & Mccaulley, M. H. 1985 Manual: The Myers-Briggs Type Indicator. Corsulting Psychologist Press.

Myers, I. B. & Myers,P. B. 1980 Gifts Differing. Consultig Psychologist Press.

（附表） 検 査 項 目

1．わたしは普段から
a □人付き合いはよいほうです。
b □もの静かでひかえめなほうです。

2．もしわたしが教師だとすれば，
a □実際的な科目を教えたいです。
b □理論的な科目を教えたいです。

3．わたしにとって価値ある褒め言葉は，
a □真の感受性を持つ人と呼ばれることです。
b □首尾一貫した合理的な人と呼ばれることです。

4．わたしがどこかに行く時，
a □こと細かに計画しようとします。
b □細々したことは考えないですぐ出かけようとします。

5．わたしは，
a □ごく少数の人と真の友情を持つ傾向があります。
b □多くのさまざまな人々と幅広く友情を持とうとします。

6．スケジュールに従うことは，
a □好きです。
b □束縛されているように感じます。

7．わたしが普段，仲良くやっていけるのは，
a □空想するのが好きな人です。
b □現実的な人です。

8．わたしにとって従うことが難しいのは，
a □いつも同じようにすることに対してです。
b □たえず変化することに対してです。

9．身近な人はわたしがどのように感じているか，
a □たいていの事柄について知っていると思います。
b □特別な理由があって話さなければなにも知らないと思います。

10．わたしが気を使うのは，
a □人の権利に対してです。
b □人の感情にです。

11．わたしがグループの中にいる時どちらかというと，
a □みんなの話題に加わります。
b □１人づつとしか話をしません。

12．わたしは，
a □目立たないありきたりの人を評価します。
b □自分が意識していふかどうかは別にして独創的で個性が強い人を評価します。

13．わたしはしばしば，
a □感情を理性に従わせようとします。
b □理性を感情に従わせようとします。

14．わたしは，デートやパーティーなどの時，
a □前もっていろいろ準備しようとします。
b □その時々におもしろいと思うことを自由にしようとします。

15．友人たちの間で，
a □情報が回ってくるのはわたしが一番最後になります。
b □彼らに関する情報をわたしはなんでも知っています。

16．休日をどのように過ごすか考えると，
a □わくわくします。
b □とくに感じません。
c □非常に憂うつになります。

17．わたしは，
a □創造的な考え方をする人を友人に持ちたい。
b □地に足のついた堅実な考え方をする人を友人に持ちたい。

18. わたしが得意なのは,
a □思わぬ事態に対処し，なすべきことをすばやく見つけることです。
b □慎重に練られた計画を実行することです。

19. なにかばつの悪いことがあった時わたしは,
a □それを冗談で済ませようとします。
b □話題を変えようとします。
c □後になってどう言い訳すればよかったか考えます。

20. わたしは,
a □よく他の人たちを紹介するほうです。
b □紹介されるほうです。

21. わたしは周りの人から,
a □実務（実際的）的な人と思われています。
b □独創的な人であると思われています。

22. わたしは,
a □義理よりも情に価値を置きます。
b □情より義理に価値を置きます。

23. 行事の期日が決まっている時,
a □それに対応した計画を立てることができるので都合がよいと思います。
b □それに縛られることに不愉快であると感じます。

24. わたしは,
a □特定の人々や特定のことだけに限れば，言いたいことを十分に言うことができます。
b □誰に対しても必要なだけ気兼無く話しすることができます。

25. もし土曜日の朝に，昼から何をするつもりか聞かれたら，わたしは,
a □上手に説明できます。
b □予定が多過ぎてすぐには説明できません。
c □しばらく考えてみなければなりません。

26. 好きで読む本の中では,
a □奇抜な言い回しや独創性の高い表現を楽しみます。
b □意味することを正確に表現する作谷が好きです。

27. わたしは,
a □ぎりぎりにならないと仕事にかかれないたちです。
b □土壇場になると焦ってしまってなにもできなくなります。

28. わたしはパーティーや宴会で,
a □うまく進行するように世話をやくことが多い。
b □それぞれが各自のやり方で楽しんでもらうようにしたい。

29. わたしが興味を持っていることを，知り合ったばかりの人に,
a □よく尋ねられます。
b □尋ねられることは，本当に親しくなってからしかありません。

30. 多くの人たちがしていることをわたしは,
a □みんながしているようなやり方でしようとします。
b □自分流のやり方を見つけてしようとします。

31. 人間の最も大きな欠点は,
a □憐みがないことです。
b □合理性を否定することです。

32. 決まり切ったやり方というのは,
a □ことがうまく運ぶ適切な方法だと思います。
b □しなければならないことをする時でさえ苦痛だと思います。

33. パーティーや宴会でわたしは,
a □時には退屈になることがあります。
b □いつも楽しい。

34. 1週間以内に大きな計画にとりかかとすれば，
a □しなければならない様々なことやその手順を書き出すことに時間を費やします。
b □むずかしく考えずにできるところからとりかかります。

35. わたしがより重要だと考えるのは，
a □ある状況で可能性を見つけることができるかということです。
b □あるがままに事実を受け入れ，それに順応することができるかということです。

36. しようと思っていることや，買おうと思っているものがあり，そしてそれが些細なことである時，
a □しばらく後になって忘れてしまっていたことに気がつくことがあります。
b □忘れないようにたいていメモをとっておきます。
c □メモが無くてもいつもちゃんと実行しています。

37. わたしはいつも，
a □感じたことを自由に表現します。
b □感じたことを胸にしまってしまいます。

38. わたしはなんら問題がないやり方があるならば，
a □その方法通りにやります。
b □さらに不都合なことがないか分析して，それを解決しようとします。

39. わたしは，
a □親切な人の下で働きたい。
b □公平な人の下で働きたい。

40. 新しいファッションについて，たいていわたしは，
a □あまり興味を持ちません。
b □真っ先にやってみようとする人の一人です。

41. やらなくてはならない仕事がある時，
a □余裕を持って終われるように早めに取り掛かります。
b □土壇場になって大急ぎで仕上げます。

42. わたしは，
a □自分独自の生活スタイルが好きです。
b □伝統的な生活スタイルが好きです。

【次の問題のみ，答えが2つあれば2つの□にマークしなさい】

43. 毎日の仕事で，わたしはどちらかというと，
a □時間と競争でしなければならない緊急事態を苦にしません。
b □時間に追われて働くことが嫌いです。
c □時間に追われて仕事をしないですむようにいつも計画をたてます。

44. わたしは，
a □普通の人より物事に熱中するたちです。
b □普通の人より物事に熱中しない方です。

45. より高く賞賛されるのは，
a □常識がある人だと思います。
b □展望を持っている人だと思います。

46. わたしは，
a □思いやりのないことが世のためにならないと思います。
b □お節介が世のためにならないと思います。

47. しなければならない特別な仕事がある時わたしは，
a □始める前に注意深く準備をしようとします。
b □やっていく中でなにが必要であるかを見つけ出そうとします。

48. わたしはいろいろな人と，
a □知り合いになることが難しい。
b □知り合いになることが容易です。

49. わたしにとって決まり切った日課は，
a □落ちつきを与えるものです。
b □退屈なものです。

50. a □作る
b □創る

51. a □恩恵
b □祝福

52. a □計画的
b □無計画な

53. a □発明する
b □造る

54. a □批判的でない
b □批判的

55. a □おしゃべり
b □控えめな

56. a □思慮深い
b □魅力的な

57. a □用心深い
b □お人好しの

58. a □受容
b □変容

59. a □思考
b □感情

60. a □几帳面な
b □のんべりした

61. a □確信
b □推測

62. a □同意する
b □議論する

63. a □パーティー
b □劇場

64. a □有名な
b □無名の

65. a □組織的な
b □自然な

66. a □先端
b □基部

67. a □柔軟な
b □強固な

68. a □活発な
b □穏やかな

69. a □成果
b □計画

70. a □耐える
b □許す

71. a □組織的な
b □気まぐれな

72. a □理論
b □体験

73. a □説得力のある
b □感動的な

74. a □不変な
b □変化の多い

75. a □映像的
b □文字的

76. a □穏やかな
b □断固とした

77. a □心の温かい
b □平穏な

78. a □事実
b □観念

79. a □決断的な
b □献身的な

80. a □同情
b □見通し

81. a □話す
b □書く

82. a □具体的
b □抽象的

83. a □冷静な気配り
b □暖かいこころ

84. a □決断
b □衝動

85. a □シンボル
b □サイン

86. a □調停
b □裁判

87. a □交際好き
b □一匹狼の

88. a □秩序立った
b □のんきな

89. a □想像的な
b □実際的な

90. a □同情する
b □分析する

91. a □解説
b □構想

92. a □正義
b □慈悲

93. a □注意深い
b □すばやい

94. a □だれ
b □なに